

世田谷区農業振興計画（素案）に対する区民意見募集の実施結果  
及び区の考え方（案）

1 意見募集期間

平成30年9月15日～10月9日

2 意見提出者数 115名

（内訳：区政モニターアンケートの意見回答者 115名）

3 意見件数 144件

4 区民意見概要及び区の考え方

（1）計画全体（57件）

意見の概要	区の考え方
全体として素案に賛同します。 ＜同趣旨のご意見 他16件＞	計画に基づき、区の農業振興を進めてまいります。
農業従事者の減少や都市化等、世田谷の農業振興を区でささえる必要があります。区内での農業をなくならないように守ってほしいです。 ＜同趣旨のご意見 他4件＞	
区がいろんな問題に取り組んでおられる旨を読み、さまざまな問題を提起、実践されている様子を知り今後の農地発展が楽しみでもあります。	
世田谷区が真剣に「農業」に取り組んでいられることが読みながら伝わりました。	
全体的に推し進めるのも必要だけど、一つに集中して、一気に進めるほうが効果的だと思う。	
自宅の近くに農業地帯がないせいか、素案を読んでもぴんときないことが多くありました。 ＜同趣旨のご意見 他5件＞	
多様な支援に取り組んでほしい。	

高齢化で担い手の減少が予想されますが、農地の有効活用で後継者の育成システム化や、JA との連携で農業の振興が図られるよう区取り組み効果を確認しています。	計画に基づき、区の農業振興を進めてまいります。
農家さんの暮らしを安定させ、私達も地域の野菜が食べられるシステムがほしい。	
概ね網羅されていると思うが、継続的に財源を確保するための努力が必要であると思う。	
そもそも世田谷区が農業振興に力を入れていることはまったく知らなかったため、広報の徹底が必要と感じた。 ＜同趣旨のご意見 他 14 件＞	区広報紙やホームページなどで、さらなる周知を図ってまいります。
世田谷区が農業に力を入れる必要を感じないためあまり関心がありません。 ＜同趣旨のご意見 他 4 件＞	今後の施策の参考にさせていただきます。
学校給食など、いまあるものを活用するのがいいなと思った。	
どのような形で、農業(農地も含め)を世田谷区に残して行きたいのか、もう少し単純な形で提示してもよいのではないかと思います。	計画の理念として、『農と住が調和した魅力あふれる世田谷農業～未来につなぐ「せたがやそだち」～』というキャッチフレーズを記載いたします。

(2) 第2章 世田谷区の農業を取り巻く状況 (1件)

意見の概要	区の考え方
農業者からの意見が見えない。区からの支援等があり経営が安定すれば農業を継続するのかが不明。	農業者アンケート及びヒアリングで、「農業を続けたい」が9割以上という結果がでました。また、税制に関する国・都への要望や営農に対する支援、世田谷農業のPR等を充実して欲しいというご意見が多くありました。より一層の充実を図ってまいります。

(3) 第3章 世田谷区の農業振興の基本的方向 (1件)

意見の概要	区の考え方
年間販売の統計や経営モデルを示している点が良い。	農業者には、経営モデルを参考に、農業経営に取り組んでいただきたいと考えております。

(4) 第4章 基本的方針に基づく具体的施策の展開

①基本方針1 多様な農業者への支援 (9件)

意見の概要	区の考え方
私の友人で他の区に在住で農地を持っていたのですが、農業をする人がいなくて、宅地にした方がいます。個人で農業を続けるのは大変そうですね。まずは、基本方針1の多様な農業者への支援が必要ですね。 ＜同趣旨のご意見 他6件＞	計画に基づき、多様な農業者への支援を進めてまいります。
具体的施策の(4)-②女性農業者は現在、0なのではないでしょうか。	女性農業者はおりますが、男性農業者が経営主となっている方が、圧倒的に多いのが現状です。
「多様な農業者支援」に女性農業者の支援が組み込まれているのが興味深かったです。	今後の施策の参考にさせていただきます。

②基本方針2 「せたがやそだち」の流通促進 (26件)

意見の概要	区の考え方
「せたがやそだち」の流通は是非PRをして、飲食店・スーパー・マルシェ等、私達の目に見えるようにして頂けたら嬉しいです。 ＜同趣旨のご意見 他12件＞	世田谷農業は、少量多品目型の生産により庭先販売が多く、市場やスーパーへの出荷が難しいという現状がありますが、飲食店とのマッチングや農産物集荷配送コーディネートシステムの構築、マルシェ等の出店支援等により流通の促進とPRに取り組んでまいります。
「せたがやそだち」の区内流通拡大について、もっと広報してほしい。情報発信が足りないように思います。	
せたがやそだちを推進すべき。 ＜同趣旨のご意見 他2件＞	計画に基づき、「せたがやそだち」を推進してまいります。
区内農産物をふるさと納税の返礼品に活用する道はありませんか。 ＜同趣旨のご意見 他2件＞	世田谷農業は、少量多品目型の生産が多いため量の確保という課題があり、ふるさと納税の返礼品としては、難しいと考えております。

<p>子供を区立学校に通わせておりますので、給食で地産の野菜を取り入れるという計画は特に、注目いたしました。</p> <p>&lt;同趣旨のご意見 他2件&gt;</p>	<p>今後も、学校給食での活用を推進していきます。</p>
<p>他の区では、食堂で、地域で採れた農産物を積極的に使う取り組みがテレビで紹介されていましたが、世田谷区ではどうなのでしょう。</p>	<p>「せたがやそだち」利用事業者について把握し、利用店舗等を周知していくため、『「せたがやそだち」利用店舗登録制度』を構築してまいります。</p>
<p>世田谷産の農作物を食しています。農家の前での販売店を利用しています。</p>	<p>今後の施策の参考にさせていただきます。</p>
<p>せたがやそだちのロゴマークがかわいいです。もっとグッズとか宣伝して欲しい。</p>	

③基本方針3 農業生産・経営の安定化（10件）

意見の概要	区の考え方
<p>食の安全をはかる。</p> <p>&lt;同趣旨のご意見 他3件&gt;</p>	<p>東京都エコ農産物栽培農家助成制度や都GAPの推進等により、食の安全を図ってまいります</p>
<p>世田谷区は思った以上に農家が多いが、その利点を引き出す方法がまだまだ不足しています。また、東京農業大学など専門家を抱えているのに先端技術の試み、拡大がされていないのは残念なことです。都市型農業の研究・促進を大いに進めて欲しいと思っています。</p> <p>&lt;同趣旨のご意見 他1件&gt;</p>	<p>事業者や大学等研究機関と農業者との連携による新たな農業ビジネスの構築を推進していきたいと考えております。</p>
<p>規制があるが、地熱活用・LED電気などを活用して、建物内での農業を促進し、天候に左右されない安定した収穫を得られるよう計画して頂きたい。</p>	<p>施設栽培への転換のための設備設置の助成や六次産業化、異業種連携のマッチング支援等、農業生産・経営の安定化への支援を行ってまいります。</p>
<p>隣接するレストランを作る。</p>	
<p>都会の農業は効率が悪いので、また農業世代交代をとらえ、世田谷区が区内の農業全体の経営効率化を一元化する行政を期待します。</p>	

<p>もっと区民に知ってもらうために農地などに看板を立てたりしてもよいのでは。近所に、世田谷区のマークの入った農地を見かけるが、具体的な内容がないのでよくわからないと思う。</p>	<p>特に農地周辺住民の農業理解を通じた営農環境の改善を目的として、農地看板を設置しております。今後、生産情報だけでなく、環境保全や防災等の農地の多面的機能の周知にも役立てていきたいと考えております。</p>
--	--

④基本方針4 農のある暮らしの充実 (12件)

意見の概要	区の考え方
<p>より地域との触れ合いが楽しめるイベントを増やしてほしい。          &lt;同趣旨のご意見 他3件&gt;</p>	<p>区民農園や体験農園、収穫体験など農業体験できる多様な場作りを引き続き推進いたします。</p>
<p>農業に関しては、特にふれあいと直売所でお世話になっています。子供が小さい時ほど参加しやすいものだと思いますが、知られていないものが多いと思います。実際、子どもが幼稚園の時に、近隣でじゃがいも、サツマイモ掘り、果物収穫など自転車圏内に多数ありましたが、誘って初めて知った方が多い印象でした。もったいないです。今回、秋の芋掘りについて別プリントで施設に配置されているのを見ました。あれを配布できないものか、ご一考ください。          &lt;同趣旨のご意見 他1件&gt;</p>	<p>ふれあい農園等にご参加いただき、ありがとうございます。広報につきましては、区広報紙やホームページ、チラシ等で一層のPRに努めてまいります。いも掘りのチラシは、図書館等で配布していますので、ぜひご覧ください。</p>
<p>区立の小学校、中学校の校庭を利用して野菜を育てる運動を促進。</p>	<p>現在、区立小学校では、花の栽培指導を行っており、今後とも事業を継続してまいります。</p>
<p>2022年から指定解除があるということだが、基本方針4-(2)で新規事業として掲げられている「農の風景の発信」は大いに期待している。</p>	<p>区民の皆様にも、農の風景に気づき発信していただけるよう、事業を進めてまいります。</p>
<p>「収穫祭」を世田谷区としての一大イベントとして運営。</p>	<p>関係所管課と連携し、花展覧会や品評会、農業祭のPRを行ってまいります。</p>

世田谷産の農作物の展示会や即売市をして、農のある暮らしを実感する事。	花展覧会や品評会、農業祭等で行っております。一層のPRに努めます。
農家の人も農地も減りつつありますが、これからもファミリー農園をやつて欲しい。	ファミリー農園は、土地所有者から土地を借りて行っているものです。土地の購入は財政的に厳しく、貸与申し出がない限り新規開設は難しいのですが、利用希望が多い事業でもありますので、引き続き維持に努めてまいります。
農地のある世田谷は続いてほしいので、素案に反対意見はありませんが、特に小中学校生徒や地域の大人たちと農家・農産物の交流促進を希望します。自分の住んでいる地域を知るといのは大切なことですので、そういう意味も含め、もっとふれあいの機会を作ってほしいです。	今後の施策の参考にさせていただきます。

⑤基本方針5 農地を守るまちづくりの推進（10件）

意見の概要	区の考え方
2022年からの生産緑地指定解除の影響を考えると、農地を守るまちづくりの推進について、今まで以上に重点的に取組まないといけないと危機感を強くもっています。 <同趣旨のご意見 他3件>	計画に基づき、区の農地保全に努めてまいります。
空き地も駐車場や集合住宅などが建ち並び緑が少なくなってます。区民も農地として利用できたり体験できるスペースになったら嬉しいです。	農家所有の宅地等を農地として整備するための支援を行ってまいります。
農地登録をしておけば、税法上有利になるというだけでどうみても生産をしていないような農地も見かけられるが、もっと厳しい、そういった面での施策を国の動きも踏えた上で、やっていけるのではないだろうか。	農業委員が生産緑地の耕作状況を確認し、指導等を行っております。

<p>都会での農業や農地を維持する事は大変だと思いますが、とても大切で必要な事だと思います。現在担っている人々の子供達にも土地保有を含め農業に携わっていただくのが良いのですが、不可能な場合農地の区の買い(貸り)上げをする事で、農地を守る。さらに、農業を希望する人を育てるために、区以外、海外からの人々も勧誘する。もっと世田谷の農業を盛り上げる事で、収益につなげる事が可能だと思います。</p> <p>&lt;同趣旨のご意見 他1件&gt;</p>	<p>平成30年6月に都市農地の貸借の円滑化に関する法律により、今まで事実上困難だった生産緑地の貸借が可能となりました。区としましては、地域での担い手への集約の仕組みや安心して貸借ができる体制づくり、区が借りて区民農園を運営する等の施策を検討し、農地の保全に努めてまいります。</p>
<p>農地、緑地の保全には賛成で、その意味で区民農園は良いと思います。実際以前、遠い場所でしたが2クール5年ほど利用させて頂きましたが、応募多く競争激しく、更に遠いので現状では利用困難です。</p>	
<p>世田谷区は農業振興のイメージが強い。安定的な事業経営を標榜するうえで、大型の農園経営も念頭に農地の集約も模索していくタイミングに来ているのではないかと感じています。</p>	

(5) 第5章 計画の実現に向けて (5件)

意見の概要	区の考え方
<p>10年後の目標指数とありますが、中間(5年後)での進捗状況確認、目標とのかい離・軌道修正などで、さらに実効性のあるものを期待しています。</p> <p>&lt;同趣旨のご意見 他3件&gt;</p>	<p>計画期間の前期・中期・後期の段階で、各取組みの進捗状況等を農業振興対策委員会に報告するなど客観的に評価する仕組みを構築し、PDCAサイクルのもと、進捗管理や見直しを行ってまいります。</p>
<p>身近に感じられるような具体的な取り組みを地域でやっついていかないと浸透はしないでしょうね。どんな風にしたら応援できるのか知りたいです。</p>	<p>安全な食生活の推進、地産地消の推進、農業者との連携等、ご協力いただきたいと考えております。</p>

(6) その他 (13件)

意見の概要	区の考え方
近所に生産緑地があるのは、ホッとできるので癒しの場と思っている。	今後の施策の参考にさせていただきます。
日本はもっと農業に力を入れるべきだと思う。食は生きて行くには一番大事な事知ることであり、これから輸入にたよらない様にしないと困るのではないかと思います	
外国の方特有の農業コミュニティーや野菜イベントがあったらいいと思います。	
「せたがやそだち」ブランドは残念ながら味において、農業県の農産物に負けているように思う。マンション経営の片手間にやっているからでは、という声も聞く。	
災害とかもかなり多いので、区内で農作物あるといいと思う。違う土地への支援をもできる。	
区内の農地は税金対策ばかりのような気がする。	
かつて「かまくらやさい」が人気を集めました、その後を含めて「かまくらやさい」の展開から参考になることがあるのでは。	
農地が拡大することによる夜の治安の問題を懸念します。	
生産緑地の指定解除をめぐる「2022年問題」に関しまして、対策の一つとして区営住宅を立てるために駅から遠い徒歩15分以上の土地を区で買い上げる。財源は駅から10分以内の区営住宅を更地にして民間に時価で払い下げるのはいかがでしょうか。この考えは都営団地に適しているのですが。	

<p>地球温暖化に伴う食糧危機を考えた時、作物の生産を各家庭が身近なものにとらえ今から準備をする上で地道な活動は必要と思います。</p>	<p>今後の施策の参考にさせていただきます。</p>
<p>区内に限らず農地はこれ以上減らすべきでないを考える。 税制はじめ、後継者に広く門戸を開放して、日本の良き農業を守り、発展させる方向にもって行くべきと考える。</p>	
<p>世田谷区内農地の場所もはっきりわからないので、農地を見せていただけるバスツアーなどがありましたら参加してみたいです。</p>	<p>世田谷産野菜等が購入できる直売所のマップや収穫体験実施農園がわかるふれあい農園マップを作成しています。区ホームページからもご覧いただけます。</p>
<p>区内の農地よりも緑地、雑木林を保護して欲しい。</p>	<p>関係所管課に伝え、今後の施策の参考にさせていただきます。</p>